

裁判員体験型 刑事裁判員裁判を受講して

平成25年6月19日 昌平中学校3年生

3年1組

- 今回の模擬裁判では、初めて人を裁くことをしたのでとても緊張した。意外と楽しかったので機会があったらまたやりたいと思いました。
- 模擬裁判では初めて本格的な裁判形式のものを体験できました。みんなで審議した時間が足りませんでした。
- 今回の模擬裁判では、検事と弁護人の証人尋問と論告求刑、弁論がうまくてどちらにしようか迷ったが、僕の班は執行猶予がついた。僕は最後まで迷っていた。僕は裁判官にはなれない。
- 今回の模擬裁判では、法に従う選択だけではなく、自分の道徳心も問わなくてはいけないのでとても難しかったです。とても貴重な経験だったと思います。
プロの人たちの意見はとても新鮮でためになりました。国の仕事をする人の道徳感が一般の人と少し違うのかなとも思いました。
- 裁判をして、実際に人を裁くのが真剣に考えなければならなかったと思いました。
- 今回の模擬裁判は本物の裁判みたいで緊張しました。罪を決めるときはみんなが納得いくような罪にしようと真剣に話し合いました。しかも質問などいっぱいあって聞いているとこんなに疑問が浮かぶんだと思いました。今回の模擬裁判はためになりました。
- 午前中の授業のときは、どうせ退屈なんだろうなと思っていました。でも、実際に視聴覚ホールに入ってみるとセットがしっかりしていたり、今回来てくださった人たちが準備しているのを見て、だんだんわくわくしてきちゃいました。始まってからの本当の裁判を見ているみたいですごく楽しかったです。
- とても臨場感があり、貴重な体験となりました。特に被告人役の方はとても演技がお上手だったなと思いました。そして、刑を決めるのはとても重いことだなと思いました。
- 本物の裁判は見たことないので良い経験でした。将来裁判に参加することがあったら、この経験を生かしたいです。いろんな人が質問していて「僕も質問しなきゃ」って思っていて、いろいろ質問を考えていた。が、何も思い浮かばず、1回しか質問できなかった。でもよく考えると1回質問できただけでもよかったと思っています。
- 人を裁くことはその人の人生を大きく変えるので判断するのがとても難しかった。もし自分が裁かれたときどうするかなど多くのことを考えました。やっぱり判断する側、判断される側のどちらの大変だなと思いました。
- 人を裁くことの重大さや実刑か執行猶予かでその人の人生を決めてしまうし・・・すごく難しかった。非常に貴重な体験ができて良かったです。
- 今回の模擬裁判で役の人の演技が上手だったので評議の時に本当のこのように考えてしまいました。裁判で判決を言い渡すことはその人の人生を左右することなのでちゃんと真剣に考えなきゃいけないと改めて思いました。また、これからはテレビのニュースなどで見た判決を自分ならどう考えるか、どのような意見を出すかなど考えてみようと思います。
- 今回は実際の裁判ではなかったけど、でも本物もこんな感じなんだと思います。証人尋問で嘘を述べると罪になることを初めて知りました。今回の事件は意図的に起こされたものではなかった所以自分はそんなに重い刑罰は必要ないと思っていたけど、同じ情報量でも判決に差があって面白かったです。班内での討論はやっていて楽しかったです。あと、知ってはいったけど検察官と弁護人は本当に逆の休憩をしていて驚きました。被告人を責めたり、逆側から守ったりすることは慎重に裁くのに大切だと思います。犯罪はどんなことでも一番責められるべきなのは犯人になってしまうけど、それでもしっかり人権は守られていることに感動しました！この体験で人の罰を決める責任の重さと裁判の役割の重大さがよくわかりました。

- 模擬裁判を初めて体験して人を裁くことの責任の重さを改めて感じました。今回の事件は執行猶予をつけるべきか班のみんなでたくさん話し合っただけで悩んでいました。裁判官の人はいつもこんなことをしているのかと思うととても大変な仕事だと思いました。また、裁判員裁判の体験で自分もいつ裁判員にされるかわからないのでこういう体験ができて良かったです。
- 最初私は「めんどくさいな」と思っていました。しかし、話し合いを重ねていくうちに人を裁く重みなどを感じてきました。こんなに他人の意見を聞くなんて思っていませんでした。本当に貴重な体験ありがとうございました。
- 模擬裁判だったけど、とてもリアルでびっくりしました。私たちが裁く方になってみて人を裁く重みを感じました。少ない時間の中で判断するのはとても大変でした。とても勉強になりました。またやってみたいです。
- この事件の3人の言い分を聞いて懲役に執行猶予をつけるかどうかは3人の気持ちが痛いほどわかるので判断するのがすごく難しいと思いました。私の班では評議で意見がみんなばらばらだったので、それぞれの理由が聞けて良かったと思いました。人の罪を判断するのは難しいけど良い経験をしたと思います。
- 今回の模擬裁判では、冒頭から判決までやらせてもらってとてもいい経験をしました。自分が裁判員側になって判決を下すことはとても重いものだと思います。
- 模擬裁判では、最初から最後までまるで目の前でドラマを見ているような感覚でした。被告人役の方の演技もとてもうまかったし、自分が裁判員になったような気持ちで模擬裁判をしました。みんなで判決を決める時も1人一人が意見を言い合っただけで納得するまで考えたりするのも大変でした。もし、またやるとしたら、人を裁く立場で自分の意見が言えるようにしたいです。
- 模擬裁判の流れがよくわかった。今回の事件では殺人でありながらもさまざまな道德観がみれたので人を裁くことは重い事なんだと思った。
- 模擬裁判をやったのは初めてでした。最初は「めんどくさいなあ。おもしろくなさそうだなあ。」と思っていました。だけど、模擬裁判が始まって暗い雰囲気だったので少し緊張しました。裁判がどんどん進んでいくにつれて、緊張は高まっていきました。審議の時もみんなが一生懸命になって考えている姿を見て感動したし、協力ができたからとても嬉しかった。じっくり考えたりすることは大切だと思っていたけど、久しぶりにしっかりと考えられたから楽しかったし良い経験になったと思いました。とてもおもしろかったので、またこういう機会があればやってみたいです。ありがとうございました！！
- 今までニュースとか見ても簡単に死刑とか無期懲役とか言っていたけど、本当はもっと重いものであり、簡単にはきめていけないものだ改めて感じました。
- 模擬裁判では質問されたことなどをプリントに書くのが大変だった。判決するのはとても難しかった。
- 人はいつ被害者、加害者になるかわからない。今回扱った事件の内容は私には被告人の気持ちも被害者の気持ちもどちらも理解できました。滅多にできない貴重な体験ができて良かったです。このさき成人してももし裁判員になることになったら、この体験を生かしたいと思いました。
- 本当の裁判のようにセットができていたり、役が決まっていたりして真剣に模擬裁判に取り組むことができました。班で話し合ったときはなかなか決められなかったです。初めて裁判に触れて裁判の重要性や関わっている人々の責任の重さを知りました。
- 模擬裁判では、被告人や母親への質問がとても具体的で驚きました。内容が殺人だったので殺す気がなかったとはいえ判決がとても難しかったです。
- まず、意外と裁判の様子が現実的だったことに驚きました。そのおかげで、裁判のしくみもよくわかりましたし、今回は罪は軽かったし事件の様子もわかりやすかったです。今回は貴重な体験ができてうれしかったです。
- 模擬裁判をして初めて裁判の進め方を知りました。

- 刑の量刑を決めるのはすごく大変で、大切なことがわかり、裁判官は改めてすごいと感じました。なかなかみんなの意見がまとまらず、最後には多数決で決めましたが、本当に多数決でも良いのか迷ったり、刑期を何年にするのかということも悩みました。めったにできない体験ができて良かったです。

3年2組

- 僕は今回の模擬裁判を通して今までの考え方がすごく変わりました。今まではニュースなどを見てもそんなに深く考えることはなかったけど、なんでこのような事件が起こってしまったのかなど考えるようになりました。今回の授業はとても難しかったけど、これからの人生の中でとてもいい経験になったと思います。
- 本当の裁判所にいるようなことが体験できた。今回は重要な体験だったと思う。また裁判を体験してみたい。
- 事前学習でビデオをみたので、模擬裁判のイメージが湧きやすかった。判決を班で決める時もみんな真剣に考え、納得いくまで話し合い、しっかりと判決が決められたと思います。
- 模擬裁判をやり裁判員の重大さなどが改めてわかりました。また、これは本当なのかを考え判断するところが難しかったです。
- 今回の模擬裁判は、いくら模擬とはいえども本物の法廷に出たような気分になりました。今回の授業でもし自分が裁判員に選ばれたときしっかりと参加できるようになりたいと思います。
- とてもいい体験ができました。今回はとても本格的でした。真剣に取り組めてよかったです。
- 花村恵子さん役の人がとても演技が上手だった。あと、被告人役の人が実は偉い人でびっくりした。今回の裁判により、懲役や執行猶予など今まで考えなかったことも考えるようになった。
- 模擬裁判では被告人を実刑にするか執行猶予にするか班で話し合いました。反省の色が見られるなどの理由から懲役3年執行猶予3年という結果になりました。今回の模擬裁判でいろいろ勉強になりました。次のスペシャル Wednesday が楽しみです。
- 模擬裁判で人を裁くことは大変だということがわかった。話をきいていくと良かったり悪かったりして難しかった。
- 裁判を中学生で体験できたのはとても感動しました。役をしていた方々も迫真の演技でとてもリアルでした。僕は質問できなかったことが一番残念でした。今後大人になって自分が裁判員として活躍するときはしっかりとした対応をできるようになればいいと思う。
- 本当の裁判のように本格的ですごかった。この人をどう裁くかいろいろ考えることはとても難しかった。みんな真面目に集中して聞けてよかった。弁護士の人や裁判所の人に来てくれてとても演技が上手かった。みんなで実刑にするか、執行猶予かとても迷いました。考えることがとても難しかったです。みんなで協力して考えることができました。模擬裁判で人のことを考える力を学びました。とても楽しい模擬裁判でした。
- テレビとかでよく見たりしたけれど、やっぱり自分たちの意見で人が裁かれると思うと少し悩みました。石澤先生が刑務官役だったのが面白かったです。
- 減多にできない体験だったのでとても興味深くためになりました。これがもし本当の刑事裁判で判決を言い渡すということになったら、やっぱり私たち一般人にはこんな重大な任務を任せていいのかと疑問に思いますが、実際にやってみて見る目が変わったと思ってます。最初で最後の模擬裁判を体験できて本当に良かったです。ありがとうございました。
- 1人一人それぞれの意見があっていろいろ考えさせられた。模擬裁判で実際の裁判の流れがよくわかった。判決はちゃんと時間をかけて言い渡しているかがよくわかりました。
- 今まで裁判というものにはあまり興味がありませんでしたが、実際に模擬裁判というものをみてから、興味が出てきました。これからニュースとかで裁判についてやっていたら自分でも少しは考えてみようと思いました。

- 私は、資料を何回か読んで、だいたいの内容は理解したと思っていたけど、実際に模擬裁判をやってみると検察官や弁護人の質問やこの質問に対する応答がすごく詳しくて驚きました。あと実際に判決を決めるときにもどうしたらいいのかなどを考えるのはとても難しかったです。でも最終的には適切な刑を決められたと思うのでよかったです。
- 私は模擬裁判を体験して、刑を決めるのは考えていた以上に大変なことだと思いました。さらに、この模擬裁判では役をやっていた方々がとても上手くて、本当の裁判をやっているような気持ちになり、グループでの量刑がやりやすかったです。この模擬裁判はとても良い体験になったと思います。
- 模擬裁判だったのに、緊張感がありました。法服を着れたり、質問できてうれしかったです。もし自分が大人になったら、自分たちの判断で刑が決まるのは少しこわいけど、やってみたいと思いました。
- 私は今まで裁判というものに興味がなく、どのように決めているのかや、どのくらい大切なことなのかかわからずにいました。ですが、模擬裁判を体験して、裁判というものの大切さや刑の重み、また今まで興味がなかったのに、今回を機に興味を持つことができました。一人一人の話を大切に、自分たちで一人の人のこれからの人生を決めていくことは大切だと思いました。
- はじめて模擬裁判をやってみておもしろかったです。後ろで座っていて検察官がまず文を読み上げていて、本物の裁判そのままだと思いました、かっこいいと思いました！今度裁判所まで行って本物を見てみたいと思いました。
- 初めてなので少しワクワクしてました。もっと退屈な感じかと思ったけど違いました。楽しいとは違うけど退屈なものではありませんでした。本人を目の前にしてみると軽々とは言えなくなりました。
- 裁判の風景はテレビのニュースでしか見たことなかったけど、実際に被告人、証人、検察官、弁護人、裁判員がそろってやってみることで、裁判の進め方やそれぞれの役割を知り、とても勉強になりました。たとえ刑を決めるだけでも、その刑にした理由や証拠、人柄などいろいろな角度から審議しなければならないんだなと思いました。
- 役者さんがとても演技が上手でリアルでした。質問も積極的にできたと思います。でも法服を着れなかったのは残念でした。
- 模擬裁判に裁判員として参加し、感じたことは、以前NHKの模擬裁判の番組でもあったような緊張感と裁判に関わっている人全員の事件を解決しようという真剣な姿勢です。事件の全体を見て、考え、質問し判決を下すということが、考えていたよりずっと重くて大切なことだということを知ることができました。今後ニュースを見る時もこの判決に至ったのはどういうことを考えたからなのかということを考えてみたいと思います。
- もともと知識もなかったので刑を決めるときはなかなか話がまとまらず大変でした。大変だったけど、みんな協力して出来たのでよかったです。
- 評議では、なかなか意見がまとまらなかったのですが、最終的には全員一致で執行猶予付きに決まりました。実刑の理由にもいくつか説得力のあるものもあって、私もかなり悩みました。今回はあくまで「模擬」だったのでまだ余裕がありましたが、これが本当の裁判だったら、もっと時間を使って悩みに悩むことになるんだろうなと思いました。とても有意義な3時間を過ごせました。
- 私は今回の模擬裁判を通して思ったことが2つあります。1つは刑を決めるときの重さです。自分たちが決めた判決で被告人の運命が決まる重大さを感じました。2つめは裁判員として見ていて、裁判官と考え方はきっと違うと思います。私たち一般人にとっての殺意などと裁判官の考える殺意は少し違うと思います。また、評議では最終的に全員がお互いの意見を共有して全員一致で決まったのが一番よかったです。

以上